

長津田地区

長津田地区別計画推進策定委員会

地域

長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、
長津田みなみ台1～6丁目、7丁目の一部

緑区の最西端・最北端に位置し、南北に広い地区です。西は東京都町田市、北は青葉区、南は瀬谷区、南東は旭区に隣接しています。区内で最も広く、人口、世帯数ともに最大となっています。

近年、地区の東西を貫いている国道246号線東側、長津田みなみ台の大規模開発に伴い、大型商業施設、大規模マンション等が増加し、転入人口が増加しています。また、駅北口地区市街地再開発により、都市型住宅等の整備も進められており、駅周辺に保育施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：長津田駅（JR横浜線・東急田園都市線・こどもの国線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：いぶき野小学校、長津田小学校、長津田第二小学校、田奈中学校

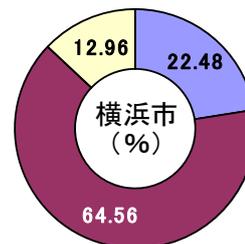
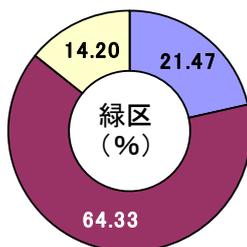
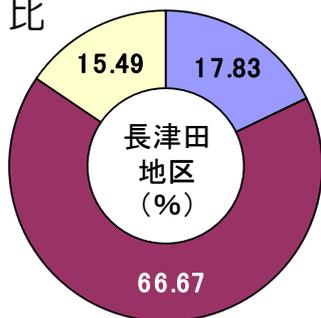
地域ケアプラザ等：横浜市長津田地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成26年(2014年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	3,243人
65～74歳	3,683人
15～64歳	25,893人
6～14歳	3,642人
0～5歳	2,374人
合計	38,835人

75歳～	16,899人
65～74歳	21,462人
15～64歳	114,942人
6～14歳	15,723人
0～5歳	9,654人
合計	178,680人

75歳～	381,069人
65～74歳	455,152人
15～64歳	2,401,961人
6～14歳	293,856人
0～5歳	188,228人
合計	3,720,266人

地区別計画推進策定委員会の開催

第1回

平成26年6月14日
13:00～15:00

長津田スカイハイツ第2集会所

- 第2期3か年の振り返り
- 今年度の取組について

意見交換

通信No.7発行

第2回

平成26年11月22日
9:30～11:30

長津田スカイハイツ第2集会所

- 今年度・次年度の取組について
- 第3期計画の目標設定

(5年後の長津田地区のあるべき姿)

通信No.8発行

注) 上記の人口データには、長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、長津田みなみ台1～7丁目のデータを集計しています。

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成26年度地区別計画推進状況



長津田地区



～向こう三軒両隣～ ともにささえあう
福祉の街長津田 を目指して!

長津田地区では、**5つの目標**を掲げ、地域全体で取り組んでいます。

平成26年度の主な取り組み

地域の各団体が連携しながら、「地域の見守りネットワーク」の構築に向けた取組を進めました。

その一つとして、みどりアートパークにおいて、地域主催の講演会「認知症になっても安心して暮らすには」を開催し、当日は満員で大盛況でした。

また、地区の新聞4社の販売店と自治連合会、地区民児協、地区社協が地域の見守り活動の協定を結び、長津田地域ケアプラザとも連携して取り組んでいます。



(写真:「講演会」の様子とチラシ)



(写真:「見守り活動協定調印式」後の様子)



(写真:「第2回地区別計画推進策定委員会」の様子)

次期計画の策定に取り組んでいます!

平成28年度から始まる「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画の地区別計画策定に向けて、地区別計画推進策定委員会では、意見交換やアイデア出しを行ない、地域の課題解決を目指した次期計画の素案作成に取り組んでいます。

長津田地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 自治連合会 ●地区社会福祉協議会 ●地区民生委員児童委員協議会 ●青少年指導員協議会
- 保健活動推進員協議会 ●緑消防団第4分団 ●緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会
- 老人会 ●前地区別計画策定委員 ●幼保小中学校 ●家庭防災員

※順不同

「地域の見守りネットワーク」を柱に、地域全体で日頃から無理なく、ゆるやかな見守り活動を着実に進めていきます。



長津田地区別計画推進策定委員会



長津田地区別計画推進策定委員会
平成26年7月発行 No. 7

長津田地区別計画推進策定委員会通信

第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 3か年の取組の振り返りと今後の方向性を確認！

平成26年6月14日(土)、長津田スカイハイツ第2集会所において、「第1回長津田地区別計画推進策定委員会」を開催しましたので、その内容を御紹介します。



第1回推進策定委員会の様子

◇ みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画について ◇

誰もが身近な地域で安心して暮らしていくために、身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を策定し、取り組んでいます。

「長津田地区別計画」は、長津田地区別計画推進策定委員会が、まちの特性や課題などについて話し合い、平成23年3月に地域の目標として策定しました。

5つの目標

- ◆目標1 自治会の活動をわかりやすく伝えます
- ◆目標2 あいさつできる地域づくりをすすめていきます
- ◆目標3 「防災ささえあいカード」の活用を検討していきます
- ◆目標4 世代を超えた交流をはかり、ボランティアを育成します
- ◆目標5 認知症の人や家族が暮らしやすい地域づくりをすすめます



長津田地区社協講演会 「認知症になっても安心して暮らすには」

日時：平成26年9月20日(土) 1時30分から4時まで(開場1時)

場所：みどりアートパーク 入場無料 事前申込不要

第1部：ミニコンサート 浅井将樹氏(ピアノ)、遠藤美香氏(フルート)

第2部：「認知症及び成年後見制度について」

講師 杉山孝博氏(川崎幸クリニック院長)

<連絡先> 長津田地区別計画推進策定委員会事務局
緑区地域振興課内 TEL: 930-2231

裏面があります



取組報告

- 認知症の人や家族が暮らしやすい地域づくり
(横塚 地区民生委員児童委員協議会会長)
単身高齢者等に「ささえ合いカード」や「防災グッズ」、「黄色いバンダナ」を配布し、防災訓練の時に活用しました。民生委員児童委員を対象に、認知症サポーター養成講座を行いました。今年、9月に認知症講演会を行います。多くの方に参加していただきたいと思っています。(表面下部参照)

迫真の演技で認知症を伝える
認知症サポーター養成講座

- 健康で長生きのできる地域づくり・自治会活動
(芳川 杉山原自治会長・自治連合会)
御自身のお母様が認知症とは無縁に100歳まで過ごされたことから、その生活ぶりや経験などをお話されました。地域ではアンケートでとった希望を元に、健康講演会を開催しています。また、防犯講座を開催し、誠会(老人会)の会員が散歩で子どもの通学の見守りをおこなう等、活動者自身が健康になる取組をしています。今年の11月には認知症の方の介護経験のある方からお話を伺う予定です。



杉山原誠会のお元気測定の様子

意見交換

- 認知症：認知症サポーター養成講座など認知症対策は重点的に取り組む。認知症の発症を遅らせる予防活動と、家族の負担を減らすためにも見守りをすすめる。認知症を知られたくない家族が多い。近隣の声掛けで相談しやすい雰囲気づくりや徘徊高齢者を探す訓練も必要。
- 障害者：養護学校を卒業後も、地域の皆さんと一緒に過ごしていけるようにしたい。
- ボランティア：防災ボランティアなどの参加者を増やすため、お祭などで、顔の見える関係をつくりたい。学校ボランティアに呼びかけるなど、若い世代も参加した活動ができるよう検討したい。
- 要援護者支援：自治会が進めてきた。班長・組長が中心となり進めることが必要。一人暮らしの障がい者も、緊急連絡先等を伝えられるキーパーソンづくりが大切。「向こう三軒両隣」をさらに進めていきたい。買い物やごみ出しができなくても相談しない人、お茶会などに参加せず閉じこもっている人への支援が必要。
- 今後の取組：幅を広げるよりも、今取り組んでいることを深めていくことが大切。



【平成26年度長津田地区別計画推進策定委員】(五十音順、敬称略、○:委員長)
秋山博昌、朝倉健、石森康之、○井上俊之助、井上敏正、市木智子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、鴨志田守、岸たづ子、栗山孝子、小亀真知子、近藤光男、志田久男、杉崎勇治、杉崎芳則、鈴木和雄、鈴木勝、武井純二、鶴丸哲郎、内藤保次、沼尾礼子、原田ますみ、星野久美子、細井勇、水野美紀子、山口浩、横塚實、横塚靖子、芳川盛夫

- ◆ 第2回地区別計画推進策定委員会は、11月下旬に開催し、今年度の取組内容や第3期計画について意見交換を行う予定です



長津田地区別計画推進策定委員会
平成27年1月発行 No. 8

長津田地区別計画推進策定委員会通信

第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 26年度の取組報告と第3期計画について検討！

平成26年11月22日（土）、長津田スカイハイ
ツ第2集会所において、「第2回長津田地区別計画推
進策定委員会」を開催しましたので、その内容を御紹
介します。

【みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画について】
誰もが身近な地域で安心して暮らしていくために、身近な
地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事
業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働
で取り組む地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」
を策定し、取り組んでいます。



第2回推進策定委員会の様子

26年度の取組報告

○ 認知症普及啓発講演会

（横塚靖子 地区民生委員児童委員協議会会長）

9月20日（土）、みどりアートパークにおいて、地域主催
の講演会「認知症になっても安心して暮らすには」を開催。
ミニコンサートと杉山孝博医師による講演で満席の来場者
にとっても好評でした。今後、認知症の方をどう支えるか、
地域での取組を検討する必要があります。



講演会の様子



○ 新聞配達員と連携した見守り活動

（井上敏正 自治連合会会長）

10月28日（火）、長津田地区の新聞4社の販売店と自治
連合会、地区民児協、地区社協が地域の見守り活動の協定を
結びました。新聞受けに新聞がたまっているなど異変に気付
いた際の連絡方法を決め、長津田地域ケアプラザとも連携し
て進めていきます。また、今後さらに発展させていきます。



協定調印後の様子

【平成26年度長津田地区別計画推進策定委員】（五十音順、敬称略、○:委員長）

秋山博昌、朝倉健、石森康之、○井上俊之助、井上敏正、市木智子、大瀧正春、
岡部茂男、岡部豊、鴨志田守、岸たづ子、栗山孝子、小亀真知子、近藤光男、志田久男、
杉崎勇治、杉崎芳則、鈴木和雄、鈴木勝、武井純二、鶴丸哲郎、内藤保次、沼尾礼子、
原田ますみ、星野久美子、細井勇、水野美紀子、山口浩、横塚實、横塚靖子、芳川盛夫



裏面があります

区民アンケート（※）なども踏まえ、委員の方々が第3期計画（平成28年度から3か年）について意見交換しました。



意見交換～第3期計画の策定に向けて～

情報の発信と共有

自治会の回覧物を分かりやすくし、広報の発行や掲示板の活用を含め、様々な世代に自治会活動を情報提供することで、気軽に地域の行事や活動に参加してもらいたい。

自然に挨拶をしたくなる地域づくり（＝多世代型「向こう三軒両隣」の実現）

楽しい遊びを取り入れるなど工夫することで若い世代が参加しやすい自治会活動や高齢者による通学時の見守りなどで、地域で顔見知りを増やすことが大切。

「いざ」という時の支えあいは、日頃の見守りから

災害に備え支援の必要な方に配布している黄色いバンダナの使用方法を、多くの方に知ってもらい、日常的に活用できるようにする。

認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくり

認知症サポーター養成講座を小中学校でも行い、みんなで認知症の方を見守っていただける地域にする。また、地元の障がい児者支援施設との交流などを通じて、障がい児者への理解をすすめたり、発達障がいなど子育て世代への情報発信を行い支援の輪をひろげたい。

若い人も高齢者もいろいろな人が活躍できる地域づくり

ボランティアによる高齢者の食事会を参加者が中心に行なう工夫や、中学生の防災活動への参加、マンション単位での防災ボランティアの募集など、活躍の機会と場を広げる。

【概要】

※ 区民アンケート～速報・一部抜粋～

- ◆調査期間 平成26年8月21日～9月8日
- ◆調査対象 20歳以上の緑区民 4,500人
- ◆調査方法 郵送によるアンケートの配布及び回収
- ◆有効回答 1,301人（うち長津田地区 261人）

【長津田地区の回答結果】（男性119人、女性142人 計261人）

○情報を入手しやすい方法

市の広報158人（60.5%）、自治会の回覧板・掲示板148人（56.7%）、インターネット134人（51.3%）

○地域活動の施設・スペースとして特に重要だと思うこと

気軽に集まれる135人（51.7%）、利用予約方法が簡単86人（33.0%）

○将来（頼まれたら）できそうなボランティア活動

安否確認の声掛け141人（54.0%）、相談相手・話し相手84人（32.2%）

<編集・発行>

長津田地区別計画推進策定委員会事務局
緑区地域振興課内 TEL：930-2231

次年度も皆様のご意見を聞きながら検討を進めていきます。

